

解答プリント「中学社会・歴史的分野」

■確認プリント

7 江戸時代の社会と文化

【評価の観点】 ㊦：思考・判断・表現 ㊦：技能 ㊦：知識・理解

解答例	解説
<p>㊦ (1) 新田</p> <p>㊦ (2) ア</p> <p>㊦ (3) エ</p> <p>㊦ (4) いわし</p>	<p>㊦ (1) 沼の干拓，用水の整備などをおこない，新田の開発を進めた結果，18世紀初めの耕地面積は，豊臣秀吉の時代に比べて約2倍となっている。</p> <p>㊦ (2) イは風力でもみがらを取り除く唐箕，ウは開墾用に深く耕せる備中ぐわである。いずれも江戸時代に発明され，農作業の効率が飛躍的に高まった。</p> <p>㊦ (3) あいは染料として藍染に利用され，江戸時代は阿波（徳島県）を中心に栽培された。べにばな（紅花）は染料となるほか，江戸時代には口紅としても利用された。江戸時代は出羽（山形県）を中心に栽培された。</p> <p>㊦ (4) 江戸時代，九十九里浜では地引網によりいわし漁がおこなわれるようになり，とれたいわしは干鰯という肥料に加工された。</p>
<p>㊦ (1) 江戸</p> <p>㊦ (2) 西廻り航路</p> <p>㊦ (3) 大阪</p>	<p>㊦ (1) 五街道とは幕府が整備した最も重要な街道で，東海道，中山道，甲州道中，奥州道中，日光道中をさし，江戸の日本橋が起点となっている。</p> <p>㊦ (2) 西廻り航路は，山形県の酒田，新潟などに集められた物資を，日本海沿岸を西に進み，瀬戸内海を通過して大阪まで運んだ。17世紀後半に江戸の商人河村瑞賢によって整備された。</p> <p>㊦ (3) 菱垣廻船・樽廻船は，江戸と大阪を定期的に往復した船で，菱垣廻船は17世紀前期，樽廻船は18世紀半ばに始められた。</p>
<p>㊦ (1) a 井原西鶴</p> <p>㊦ b 近松門左衛門</p> <p>㊦ c 松尾芭蕉</p> <p>㊦ (2) 人形浄瑠璃</p> <p>㊦ (3) 蔵屋敷</p>	<p>㊦ (1) a 井原西鶴は大阪の町人で，浮世草子とよばれる小説の作者。「好色一代男」「日本永代蔵」などを著した。</p> <p>b 近松門左衛門は浄瑠璃の台本の作者で，「曾根崎心中」「国性爺合戦」などを著した。</p> <p>c 松尾芭蕉は連歌の発句から独立した俳諧を芸術として大成した。俳諧紀行文の「奥の細道」を著した。</p> <p>㊦ (2) 人形浄瑠璃は，三味線を伴奏とする語り物に合わせて人形を操る芸能で，現在の文楽につながっている。</p> <p>㊦ (3) 蔵屋敷は江戸・長崎・大津などにも置かれたが，最も多かったのは大阪の中之島であった。</p>